



はたらく女性のフロアかながわ (WWFK)

〒253-0111 高座郡寒川町一之宮 1-20-3 小島八重子気付

電話/FAX 0467(75)0365 E-mail wwfk@hotmail.co.jp

HP <http://wwfk.jimdo.com/>

選択議定書意見書採択を議会に求めて

はたらく女性のフロアかながわのメンバーが参加している女性差別撤廃条約実現アクション神奈川(以下アクション神奈川)が各自治体の議会(昨年の9月~今年の2月・3月)に対し「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書採択について」の請願・陳情のとりくみを行ってきました。

2・3月議会が終了しましたので、この間の採択の状況を取りまとめました。

【神奈川県内議会での意見書採択状況】

- 2022年9月9日 中井町議会 採択 *議員提案
- 2022年9月28日 座間市議会 採択 *議員提案
- ▲上記は、アクション神奈川のとりくみ以前に意見書採択がされたものです。
- 2023年9月17日 横須賀市議会 全会一致
*請願(アクション神奈川)
- 2023年9月21日 横浜市議会 不採択
(採択=5会派23人、不採択=5会派63人)
*請願(アクション神奈川)
- 2023年12月14日 川崎市議会 採択
*自民党提案=「批准に対する審議の促進」
9月5日提出のアクション神奈川の請願=継続審議
- 2023年12月21日 相模原市 不採択
*請願(アクション神奈川)
- 2024年2月26日 二宮町議会 不採択
委員会(採択=2人、不採択4人)
*請願(アクション神奈川)
- 2024年2月27日 小田原市議会 採択
(25人中、賛成13人、反対12人)
*請願(アクション神奈川)
- 2024年2月28日 大井町議会 資料配布
議運で上程しないことに
*陳情(アクション神奈川)
- 2024年3月1日 鎌倉市議会 可決(総員賛成)
*議員提案(11人)
- 2024年3月1日 逗子市議会 不了承
(賛成少数)*可否回数により委員長裁決
- 2024年3月6日 三浦市議会 継続審議(都
市民生常任委員会)

- *陳情(アクション神奈川)
 - 2024年3月15日 葉山町議会 採択(全会一致)
 - *陳情(アクション神奈川)
 - 2024年3月15日 大磯町議会 否決
*議員提案
 - 2024年3月18日 神奈川県議会 不採択
(厚生常任委員会)
 - 2024年3月26日 愛川町議会 採択(賛成多数)
- 意見書が出された議会=5市、3町

【請願・陳情のとりくみを通じて】

この間のとりくみの中で、慣習により議会の対応が異なることがわかりました。

アクション神奈川では、できるだけ「請願」で提出するためにと、各議会の議員さんに働きかけを行ってきました。横須賀市議会は、事前に議員さんにメールで面会の承諾を得て、各会派の議員との懇談ができました。小田原市議会は、事前に委員会の委員長・副委員長と懇談ができました。県や政令市となると直接会派へのロビー活動が中心となりました。

陳述ができるところもありますが、質疑応答ができる議会とできない議会もあるなど対応が様々です。

不採択になった議会は、議員の認識不足や無関心、党議に縛られている、私たちの側での働きかけが弱かったなどの問題もあります。

一方、採択された議会では、イニシアチブをとる議員の存在が力になりました。

3月末現在、全国で232議会で意見書が採択されています。

アクション神奈川では、今までのとりくみを総括する中で、6月議会に向けとりくみを強めていくことにしています。



駆けながら手品のよっしやぼん玉
松尾 佐知子

小田原市議会で陳述を行って 中村由紀子(会員)

2月14日、小田原市議会厚生文教常任委員会で「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める」陳述を中村さんが行いました。次は、その内容です。

・・・・・・・・・・・・・・・・

私は、女性差別撤廃条約選択議定書の批准を目的とし、勉強会、要請行動を行っている、女性差別撤廃条約実現アクション神奈川のメンバーで小田原市内在住の中村由紀子です。

今年、女性差別撤廃条約選択議定書が採決されたから、25年目に当たります。私は日立製作所小田原工場に1968年に入社して「間接職」として働いていました。当時、男性は基幹職の職務に配置され、女性は男性の補助業務—お茶くみや顧客の接待、電話番などの補助業務でしか仕事を与えられていませんでした。

1987年には、女子差別撤廃条約を国内法で整備するため、「男女雇用機会均等法」が施行され、入社して19年経た私たち女性従業員にも、均等待遇のチャンスが職場で履行されると期待しました。

しかし職場では一向に改善されず、男性は職務を遂行していく中で年功序列的な評価基準で賃金は30代半ばで女性の2倍位になり、家族を養うことができる程度の賃金水準に達していきます。私たち女性は何年たっても、入職時の職務のまま、男性と同等の業務をこなしても低い位置づけのままでした。

1992年3月、日立で働く女性たちが9人で「いまだき男女差別は、はやらない」と日立製作所に対し、「均等法」の趣旨に基づき、男女差別賃金是正を求める裁判を起こしました。裁判では、男性の同期同学歴の平均賃金に是正を求めて争いました。

11年経て2003年に和解。やっと男性の平均賃金水準を勝ち取りました。女性には支給されなかった子どもの扶養手当も支給されるようになり、仕事も補助的業務から基幹業務に変更になり

ました。11年も裁判を経なければ是正されない実態、仕事をしながら家族を抱えながらの闘いは想像をはるかに超えた厳しい闘いでした。私たちの闘いの成果は電機産業で働く女性たちにおおきな波及効果を及ぼしました。

ところが、2003年以降、多くの職場で、男女差別による賃金格差が目に見えない、「成果主義賃金制度」が導入されました。また、雇用区分の違うパートタイマーや、派遣社員、契約／嘱託社員、委託・個人請負など多様な非正規雇用労働者が約57%をしめ、正規労働者が過半数を割ることから男女格差が表面化しない結果、国際経済フォーラムのジェンダー指数は経済分野のおくれにつながり、総合的に146カ国中125位。日本は、国際的にも立ち遅れを示すことになりました。

私が30年以上前に起こした裁判の到達から現実をみるととても残念な思いです。日本政府が「女性差別撤廃条約選択議定書」を批准することによって、女性差別撤廃条約に実効性がはかれることは明らかです。

小田原市議会として、日本政府に対し、選択議定書の批准を求める意見書を国・日本政府に提出して頂きますよう御願い申し上げさせていただき陳述とさせていただきます。

【陳述を終わって】

この度は大変良い機会を頂き、あわただしい日程で何とか陳述（小田原市議会総務委員会での陳述）を行うことができました。また短期間に各会派への採択に向けての要請を行うなど、2月27日の本会議で、賛成13名/25名中のぎり過半数の賛成で、採択されました。

今回の賛成会派はミモザ（立民含む足柄女子会）3名、公明党4名、共産党2名、維新の会1名、立民男性会派2名、保守系女性1名が採択賛成に回りました。くわえてミモザの会女性議員らの他会派への呼びかけもありました。

本会議では賛成意見を共産党女性議員1名とミモザ女性議員3名がそれぞれ発言するなど、小田原市議会ならではの女性議員（10名/27名の女性議員）の存在が採択の要因にもなりました。

▼3・23「女性による女性のための 相談会@かながわ」開催

3月23日（日）雨の中、横浜・波止場会館で「女性による女性のための相談会」が開催されました。神奈川では、2022年10月に横浜、2023年5月23日に川崎で開催され、3回目になります。実行委員は全体で75人（ボランティアを含む）でした。当会からも、池田、佐久間、澤田、小島、村田がマルシェを担当しました。

相談件数は32件でした。傾向は年度末で雇用打ち切りなどの労働相談、母子家庭やひとり親家庭での子どもの不登校問題、物価高の中での生活不安を抱えている、悩みはないがいつも1人ぼっちで孤独を感じているなど、心身のよりどころを求めていることがわかります。



君嶋ちか子がゆく²⁸ …奮闘記

フェミブリッジ、黄色が鮮やか

●「女性が声をあげ、政治を変えよう」「やっぱり野党は共闘」この新しい流れはフェミブリッジと名付けられました。

3/9には桜木町駅広場が、「フェミブリッジかながわ」で、ミモザの花と黄色い衣装に染まりました。

市民とともに、共産党・立憲民主の女性議員や立候補予定者が参加しました。

共産党からは、大村洋子横須賀市会議員・はたの君枝比例予定候補と私。

●私のスピーチは次の通り。

*様々な逆流もある中で、性に関わる問題では事態が確実に動いています。各地で行われているフラワーデモも力となり、刑法改正により不同意性交等罪が設けられ犯罪の対象が広がり、伊藤詩織さんや五ノ井里奈さんの裁判も勝利し、沈黙を余儀なくされていた環境も変わり始めています。

*国際女性デーの日に、北海道・長野県・東京都で「選択的夫婦別姓を認めない民法や戸籍法は、婚姻の自由を定めた憲法24条に違反」とする提訴がなされました。



また「選択的夫婦別姓制度の早期実現を求めるビジネスリーダー有志の会」も結成され、経団連・経済同友会など6団体も、制度実施を政府に求めました。

*選択的夫婦別姓制度を頑なに拒否する自民党は同時に、長年多くの議員が「お金を不正に扱い」、それを隠すため平気で「ウソ」をつきます。これは政治的信条以前の問題です。このような人達に暮らしを委ねることは到底できません！

*私が立候補予定の神奈川18区（川崎市高津区・中原区）の現職は、統一協会との関りが深い人です。多くの方がこの癒着ぶりと本人の不誠実な態度に怒っています。野党共闘が成立すれば、確実に道が開けます。野党共闘成立のために手をつなぎましょう！

*誰もが人権が尊重され生き生きと暮らしていく、そのネックになっているのが自民党の政治です。この転換を図るためにともに力を尽くしましょう！

●黄色は人を元気にさせると改めて実感。参加者の笑顔が溢れました。

映画が好き 「〇月〇日、区長になる女。」 池田 資子(会員)



2022年杉並区長になった岸本聡子さんのドキュメント映画である。監督は区民のペヤンヌマキさん。マキさんは都市計画道路によって、自分が住んでいる場所を奪われる事実を知り、無関心だった区政を考える様になる。すると、道路計画やそれに伴う樹木伐採、商店街解体など様々な問題

と市民が闘っていることを知り、丁度区長選挙が間近にあり、選挙にも関心を持つようになった。

2022年1月に結成した「杉並思いの杉並区政をつくる会」の人たちが区長候補とし岸本さんを擁立した。①女性であること②公平公正で住民の声が届く人③党派を超えてみんなでも応援できることがその要件だった。長く海外で働いていた岸本

さんは「ミュニシパリズム（地域主権主義）」を信念にしていた。そして怒濤の選挙戦が始まった。

聡子とは「公の人々の意見に耳を傾ける」と、岸本さんは自己紹介した。しかし、街宣の演説内容に意見を言う人、服装に口を出す人、自らの運動経験から譲れない点を主張する人など支援する側との葛藤が続いた。岸本さんが「要望と政策は違う。政策を語らせて」と怒る場面もあったし、候補辞退も考えられた。しかし、結果的には187票差で当選した。

この映画を観て思うのは、候補者はみんなが納得出来る人であること。支援する人たちの思いがひとつであること。選挙に行ったら変わるかもしれないと思わせること。それぞれの立場で、自分に出来ることを行うこと。そして、選挙が終わりではなく当選した後も応援し続ける事が重要だと言うことだ。

岸本さんが区長になった後の区議選には女性候補者が増加し、新人が多く当選した。杉並区議の男女比は、半々となった。議会ではまだまだ敵の多い岸本さんだが、色んな改革が進んでいる。全国各地で、選挙は楽しいと思える様になりたいものだ。

●1月～ロングラン上映中

3月8日は国際女性デー

佐久間由美子(会員)

国際女性デー神奈川県実行委員会は、国際女性デーの3月8日に桜木町駅前で「かながわWomen's Action」のスタンディング&アピールを約60人の参加で行いました。参加者は横断幕やプラカードを掲げ、女性デーのシンボル、ミモザの花の枝を手にして「世界の女性と連帯を」とアピールしました。ミモザの花は婦人民主クラブの有園さんが大量に寄付してくれたものです。

リレートークでは、「入管法の問題点や朝鮮人学校に対する差別を変えていこう」「『裏金』問題の真相究明を」「政治分野における男女同数法を実現したが、まだまだ女性議員の比率は低い」「農業基本法の改悪で自給率向上の目標を降ろした」「コンビニに成人雑誌がまた置かれるようになった」「先輩たちがJALの若年定年制を変えてきた。諦めずに不当解雇撤回を勝ち取る」「病院は感染対策などで余力がない、賃金上がらず、休めず退職する人が多い」「フラワーデモで立ち上がり、性暴力を刑法に明記させた」などとスピーチ、さらに飛び入りで米国人留学生の女性もスピーチしました。

3月10日には、オンラインによる3・8国際女性デー神奈川県集会在「海外から見える日本のジェンダー平等」をテーマに開催されました。

実行委員長の湯山薫弁護士が「日本のジェン

ダー平等指数は125位で過去最低。みんなで世界から見たジェンダー平等についておしゃべりしましょう」と挨拶しました。海外在住の3人の女性の報告を聞いて、日本の実情と比較したり意見を交わしました。

韓国・ソウルのちかさんは「儒教の影響で、旧正月の儀式などは男性中心、男尊女卑を感じる。少子化が深刻で出生率は0.72。教育費が高く学歴社会が要因。結婚は恋愛だけでなくお見合いもあるが離婚も多い」と話しました。

NZオークランドのかおるさんは「賃金の男女格差はなく、専門性や就業年数で決まる。恋愛結婚が多いが結婚しないもアリ。離婚、再婚も多い。前首相は出産後結婚した。教育は大学を除き無償」と話しました。

アラブ首長国連邦・ドバイのきよみさんは「日本は息苦しい、電車の美容広告は『女はきれいに』という自縛だ。アラブ女性はスッピンが多い。結婚は親が決める。教育は大学まで全て無償、奨学金もある」と話しました。



トピックス

▼黒岩県知事の人権侵害を無かったことにできない女性たちの会

3月8日の国際女性デー「かながわWomen's Action」の行動に引き続きスタンディングとリレートークを行いました。

毎月第3水曜日の県庁前行動は、祝日と重なったために、国際女性デーと連帯して桜木町駅前での実施となりました。

この日は、岩手から駆けつけてくださった高屋敷さんがマイクを握り、「今日、従軍慰安婦の話をしたと思ってきた。河野談話をご存じですか。沖縄のアリランの碑も見に行きました。女性



の苦しみ、戦時性暴力の被害者を悼み、平和を願う碑文が書かれていました。いまも戦時性暴

力は続いています。性暴力のない世界になることを願い、そのためにここに参加した」と話しました。

続いて、「フラワーデモ、伊藤詩織さんの告訴、五ノ井さんの告発など性被害を訴える女性が出て来て、それに呼応する声も大きくなり、刑法も変えてきました。こうした社会の動きをとらえて、黒岩知事の自覚を促したい。辞任も求めます」「人権無視の黒岩知事を許せない。今日は国際女性デー、今年はジェンダーギャップ指数125位から100位以内に入ることが私の希望」「家父長制の日本社会。人権や平等という意識のない、固定概念を捨てきれない人が県知事になってしまった。日本は女性の働きやすさランキング27位(29カ国中)です。家事、育児、介護に男女の別なく関わる社会にしていきましょう」と次々と訴えました。